

科目名 (科目番号)	臨床検査総論実習 (時間割参照)	教員名 稲田 政則 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー		
授業概要	尿検査を中心に血液以外の各種検体に対する諸検査法について、操作および判定法等を実習し、理解を深める。						
目的・目標	目的:臨床検査総論で学んだことを、実習を通して完全に習得する。 目標:臨床検査総論で学んだ各検査法を実際に実施できる。検査結果の解釈ができる。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	顕微鏡の使い方	到達目標:光学顕微鏡について適切に使用できる。 学習内容:尿沈渣検査の実習に先駆けて光学顕微鏡の正しい使い方を習得する。				
	2	検体・器具・機器の取り扱い方	到達目標:尿検体を適切に採取できる。器具・機器を適切に使用できる。 学習内容:検体の採取、小分け、前処理を含む取り扱い方を学ぶとともに、ガラス器具や分光光度計等の正しい使い方を習得する。				
	3	尿蛋白	到達目標:尿蛋白を適切に測定でき、正しく結果を解釈できる。 学習内容:試験紙法をはじめ試験管法での確認試験、定量検査を実施する。				
	4	尿糖	到達目標:尿糖を適切に測定でき、正しく結果を解釈できる。 学習内容:試験紙法をはじめ試験管法での確認試験を実施する。				
	5	尿試験紙、尿比重、尿浸透圧	到達目標:尿試験紙での測定、尿比重、浸透圧測定を適切に実施でき、結果を解釈できる。 学習内容:試験紙法の取り扱い、判定方法、尿比重および尿浸透圧の測定を実施する。				
	6	尿ケトン体、ビリルビン、ウロビリノゲン	到達目標:尿ケトン体、ビリルビン、ウロビリノゲンを適切に測定でき、正しく結果を解釈できる。 学習内容:試験紙法をはじめ試験管法での確認試験を実施する。				
	7	尿潜血、尿中赤血球	到達目標:尿潜血、尿中赤血球を適切に測定でき、正しく結果を解釈できる。 学習内容:試験紙法での尿潜血測定と尿沈渣で赤血球の概数の計測を実施する。				
	8	尿沈渣:細胞系、各種円柱	到達目標:主要な尿沈渣成分を適切に同定できる。 学習内容:各種症例(特に細胞、円柱類が出現したもの)の尿沈渣標本を鏡検する。				
	9	尿沈渣:結晶系、微生物類	到達目標:主要な尿沈渣成分を適切に同定できる。 学習内容:各種症例(特に結晶、微生物類が出現したもの)の尿沈渣標本を鏡検する。				
	10	尿沈渣:まとめ	到達目標:主要な尿沈渣成分を適切に同定できる。 学習内容:各種症例(特殊症例を含む全般)の尿沈渣標本を鏡検する。				
	11	髄液検査	到達目標:髄液細胞数検査を適切に実施でき、臨床的意義を正しく評価できる。 学習内容:計算盤を用いて髄液中の有核細胞数を算定する。				
	12	体腔液検査、関節液検査	到達目標:体腔液検査および関節液検査を適切に実施でき、結果を解釈できる。 学習内容:リバルタ反応等の体腔液検査と偏光観察による関節液鏡検を実施する。				
	13	胃液検査	到達目標:胃液検査を適切に実施でき、臨床的意義を評価できる。 学習内容:中和滴定を元に酸度曲線を作成し酸分泌量を求める。				
	14	便潜血検査	到達目標:便潜血検査を適切に実施でき、臨床的意義を評価できる。 学習内容:自ら便検体を採取し、イムノクロマト法による便潜血検査を実施する。				
15	総括	到達目標:理解不足のテーマについて完全に理解する。 学習内容:実施した実習の中でレポートの内容が十分でないテーマについて振り返る。					
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通:小テスト等(20%)＋定期試験(80%)						
教科書	配布資料						
参考図書	尿沈渣検査法2010 髄液検査技術教本		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		
教員からのメッセージ	実習テーマ毎に実習レポートに相当する小テストを実施します。小テストの代替として、実習で得られたデータ、スケッチを提出する回もあります。総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						